

社会福祉法人 長岡福祉協会

平成28年度事業報告

1 概要

(1) 事業を取巻く環境

少子高齢化の進展による社会保障費の増大と国・地方の財政健全化という状況の中で、近年進められてきた社会福祉法人制度改革では、社会福祉法人のガバナンスの強化や運営の透明性の確保、公益性の徹底等が法制化され、平成28年4月1日に施行された。社会福祉法人が自らの存在意義を確立し、さらに発展することが求められている。

また、家族・地域社会の変容に伴う福祉ニーズの多様化、高齢人口の増大に伴う医療・介護費用の増大を抑制するため介護報酬の見直し、さらにサービス供給主体の多様化による利用者からの選別など、経営に大きな影響を及ぼす動きが進んでおり、サービスの質を向上させていくためにも収益の確保を重視した経営の重要性が増してきている。

(2) 事業の概要

平成28年度は、財務体質の強化と人材育成を柱とした第4期中期経営基本計画の2年目として、27年度に引き続き既存事業の充実と新規事業を始めとした赤字事業の改善に注力した。

介護保険事業収益は長岡地区の高齢事業と首都圏新事業で大幅に改善したものの、首都圏既存事業、小千谷さくら病院の介護療養病棟の稼働率低下により、前期を27百万円下回った。障害福祉サービス事業は前期比61百万円の増収となったが、医療事業収益は前期を57百万円下回り、サービス活動収益全体では前期を37百万円下回った。

法人全体の経常増減差額は当初計画を上回り、前期と同水準である399百万円を確保することができた。

事業別では、事業活動収入の54%を占める高齢事業が赤字から脱却できていないが、長岡地区の高齢事業は、前期に比べて増収増益となり改善傾向にある。障害事業は安定的に推移しているが、一方で待機者が減少傾向にあり予断を許さない状況である。

平成30年度の診療報酬・介護報酬の同時改定を控え、一方で人件費の長期的な増大は避けられないことから、今後ともさらに徹底した業務の見直しにより効率化を図っていきたい。

制度改革関連では、定款の変更等所要の整備を進めたところであるが、これらを着実に実施することで、より一層法人経営の質を高めていきたい。

2 事業の実施状況

(1) 長岡療育園

病院でありかつ障害児・者施設でもある2つの機能を持っている特色を最大限に活かし、施設入所、緊急入所、外来診療、訪問看護、居宅介護、通園センター事業、地域在宅支援事業（医療型短期入所、生活介護、児童発達支援、放課後支援）、相談支援等の事業を複合的に展開しており、新潟県における重症心身障害児・者を対象とする医療福祉サービスの中核的な役割を担っている。

(2) 高齢事業

住み慣れた自宅や地域での生活が継続できるよう住まいと介護の支援体制を構築し、地域包括ケアシステムを推進した。引続き地域への啓発活動を積極的に進め、地域包括ケアシステムの中心的なサービスとなる定期随時、小規模多機能等に対する市民の理解を深めることに努めた。これらの活動と合わせて、こぶし園で実施した経営改善策の実施により、高齢事業全体で前期に比べて収益はプラス 88 百万円、経常増減差額プラス 20 百万円となった。しかしながら、平成 30 年度の診療報酬・介護報酬の同時改定、また、同業他社の参入という状況はあるため、引き続き収益力の強化、業務の効率化を進めていく必要がある。

(3) 障害事業

障害種別や多様化するニーズに対応し、良質なサービスを提供できるよう入所及び在宅障害者への支援の充実を図った。就労支援事業では、工賃向上や一般就労と職場定着の支援をすすめてきた。事業全体では前期にくらべて増収となったものの、若干減益となっている。利用者の高齢化、待機者の減少等の課題への対応とともに、今後の制度改正の動向に注視したい。

(4) 小千谷さくら病院

新潟県難病医療ネットワークの基幹協力病院として、神経難病患者と高齢長期療養者への医療提供という開設以来の基本方針を堅持し、果たすべき役割とその機能を継続・発展させるために、経営の安定化をめざして人材の確保と育成に努め、提供する医療サービスの向上・充実を図りながら地域に密着し、信頼される病院づくりに取り組んだ。難病患者の入院割合は平成 20 年度から増加傾向にあり、難病医療という地域医療ニーズに対しての役割を果たしている。

(5) 首都圏グループ

首都圏での事業エリアは港区をはじめ、中央区、埼玉県和光市、千葉県柏市の 3 都県で展開している。新規事業の安定化と 27 年度に引き続いて経営改善施策の検討と実施に取り組んだが、さくらの園の稼働率が上がらず、前年に比べて大幅に収益が落ち込んだ。新事業では収支改善したが、既存事業が落ち込み、全体の経常増減差額は▲19 百万円となった。

3 経営課題への取組み

(1) 高齢事業の黒字化

(2) 介護・看護職員の確保

(3) 幹部職員の育成

(4) 「長岡医療と福祉の里」グループの連携強化

4 平成 28 年度会議等の開催状況

(1) 理事会・評議員会

開催日	議案
5月24日(火)	〔第1回理事会・第1回評議員会〕 議案第1号 平成26年度決算について 他7議案
8月23日(火)	〔第2回理事会・第2回評議員会〕 議案第1号 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業の実施について 他3議案
12月13日(火)	〔第3回理事会・第3回評議員会〕 議案第1号 社会福祉法人制度改革に伴う定款等の変更について 他6議案
【平成29年】 2月14日(火)	〔第4回理事会・第4回評議員会〕 議案第1号 内部管理体制の整備に係る基本方針等の策定について 他3議案
3月28日(火)	〔第5回理事会・第5回評議員会〕 議案第1号 平成28年度決算見込みと平成29年度計画について 他9議案

(2) 執行役員会等

執行役員会（14回開催）、経営戦略会議（3回開催）、総合会議（6回開催）
事務運営会議（6回開催）

(3) 平成28年度職員採用者数（ ）は前年度

	採用者数	退職者数
県内	129名(162)	76名(146)
首都圏	87名(93)	87名(95)
合計	216名(255)	163名(241)

(4) 本部事務局主催研修会

開催日	研修内容	対象者	参加者
4月1日, 4日	長岡医療と福祉の里 合同新人研修会	平成28年4月採用者	38名
5月27日	中途採用者研修会（第1回）	中途採用職員	20名
7月13日	対人スキルアップ研修	全職員	53名
7月13日	新人職員フォローアップ研修	平成28年4月採用者	36名
9月5日	紙おむつ研修（第1回）	看護・介護職員	18名
10月27日	交通安全研修会	全職員	42名
11月25日	新人職員フォローアップ研修	平成28年4月採用者	36名
12月7日	マイナンバー制度研修	取扱担当者	35名
12月16日	中途採用者研修会（第2回）	中途採用職員	19名
1月4日	理事長講話	各施設管理職	51名

1月4日	ハラスメント研修	担当者及び役職者	51名
2月22日	紙おむつ研修（第2回）	看護・介護職員	14名
3月24日	新人職員フォローアップ研修	平成28年4月採用者	34名

5 平成28年度主要計数実績（決算・計画対比）

（単位：百万円、％）

項目	H27 実績 A	H28 計画 B	H28 実績 C	決算対比 C-A	計画対比 C-B
サービス活動収益	12,542	12,767	12,517	▲25	▲250
サービス活動費用	12,112	12,402	12,093	▲19	▲309
うち人件費	8,309	8,500	8,441	132	▲59
減価償却費	831	798	810	▲21	12
サービス活動増減額	430	365	424	▲6	59
経常増減差額	399	341	399	0	58
その他の特別収益	322	250	317	▲5	67
その他の特別費用	227	250	530	303	280
当期増減差額	494	341	186	▲308	▲155
外部借入金	5,724	5,214	5,214	▲510	0

※内部取引消去前

【参考資料】

職員数、平均利用者数(平成 29 年 3 月 31 日現在)

(単位:人)

※職員数合計に本部事務局職員数を含む。	職員数 (常勤換算)	平均利用者数 [() は定員]		
		H27 年度	H28 年度	増減
高齢者関係事業 入所		810.1 (862)	811.9 (862)	1.8 (0)
通所		246.9 (357)	234.5 (342)	-12.4(-15)
短期		124.8 (144)	121.9 (144)	-2.9 (0)
グループホーム		69.4 (72)	70.6 (72)	1.2 (0)
小規模多機能型		203.6 (268)	227.4 (268)	23.8 (0)
入所・通所系 小計		1,454.7 (1,703)	1,466.2 (1,688)	11.5 (-15)
その他訪問系事業等		916 (-)	892.6 (-)	-23.3 (-)
高齢関係事業 小計	1,086.0	2,370.7 (1,703)	2,358.9 (1,688)	-11.8(-15)
障害福祉関係事業 入所		198.5 (224)	198.3 (224)	-0.2 (0)
通所		490.5 (534)	490.3 (536)	-0.2 (2)
短期		9 (26)	10.6 (26)	1.7 (0)
グループホーム		121.4 (131)	120.4 (131)	-1 (0)
障害関係事業 小計	338.6	819.4 (915)	819.7 (917)	0.3 (2)
長岡療育園	270.7	203.6 (220)	205.9 (220)	2.3 (0)
小千谷さくら病院	135.6	159.3 (170)	145.7 (170)	-13.6 (0)
合計	※1,850.9	3,553 (3,008)	3,530.1 (2,995)	-22.8(-13)

※職員数合計に本部事務局職員数を含む。